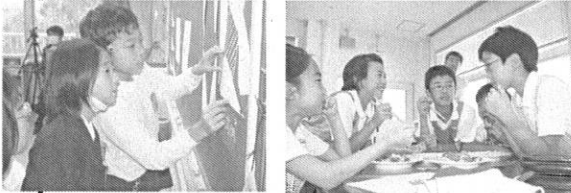


第4回広島大学附属学校園合同研究フォーラム資料《C:言語活動領域》

教科・教材の特性に応じた
「言語活動の充実」を図る
指導方法の改善
—学びの場を組織する授業づくりをととして—



広島大学附属小学校 研究部 立石 泰之
平成24年8月20日

主題設定の理由

- ◎ 国を越えた情報の交換
- ◎ 世界の商品の流通
- ◆ 市場原理による過剰な競争と選別
 - 幅広い知識と柔軟な思考力に基づく判断、他者や自然と共に生きる協力・共存できる資質・能力
- 基礎的・基本的な知識・技能
- 習得した知識・技能を活用して課題を解決する思考力・判断力・表現力
- 主体的に学習に取り組む態度

2

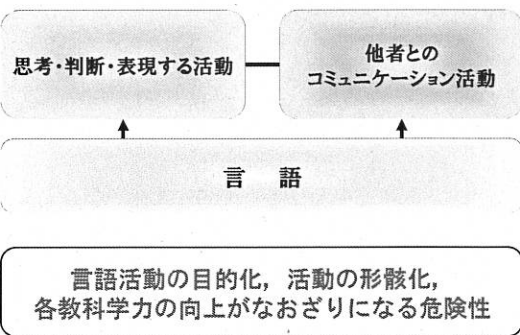
主題設定の理由

経済協力開発機構（OECD）によるPISA国際学力調査
（例）PISA2009 読解力の習熟度レベル別割合

	レベル 1 以下	レベル 2	レベル 3	レベル 4 以上
日本	13.6%	18.0%	28.0%	40.4%
韓国	5.8%	15.4%	33.0%	45.8%
フィンランド	8.1%	16.7%	30.1%	45.1%
香港	8.3%	16.1%	31.4%	44.3%

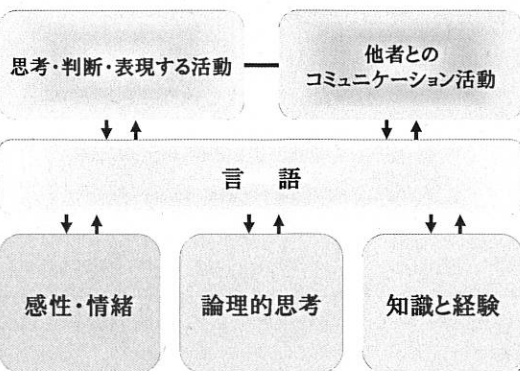
思考力・判断力・表現力等を育成していくために
知的活動、感性・情緒等、コミュニケーションの
基盤となる言語に関する能力の育成が必要

研究主題設定の理由



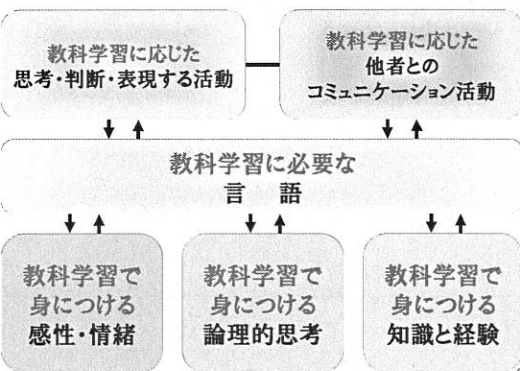
4

研究主題設定の理由



5

研究主題設定の理由

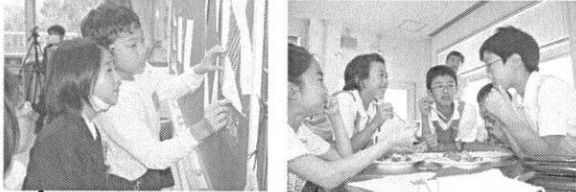


6

第4回広島大学附属小学校園合同研究フォーラム資料（C:言語活動領域）

教科・教材の特性に応じた「言語活動の充実」を図る指導方法の改善

—学びの場を組織する授業づくりをととして—



広島大学附属小学校 研究部 立石 泰之
平成24年8月20日

これまでの本校の研究

—学びの場を組織する授業づくり—

- **学びの場の準備**
→ 教材の選定・分析、単元の構成
- **学びの場の組織化**
→ コミュニケーションの整理・方向付け

研究組織

研究部 : 各教科の研究成果の整理、 研究推進の計画立案、改善	国語科研究部	国語科授業づくりにおける言語活動の充実を図る手立ての構築及び提案
	社会科研究部	社会科授業づくりにおける言語活動の充実を図る手立ての構築及び提案
	算数科研究部	算数科授業づくりにおける言語活動の充実を図る手立ての構築及び提案
	理科研究部	理科授業づくりにおける言語活動の充実を図る手立ての構築及び提案
	生活科研究部	生活科授業づくりにおける言語活動の充実を図る手立ての構築及び提案
	造形科研究部	造形科授業づくりにおける言語活動の充実を図る手立ての構築及び提案
	家庭科研究部	家庭科授業づくりにおける言語活動の充実を図る手立ての構築及び提案
	体育科研究部	体育科授業づくりにおける言語活動の充実を図る手立ての構築及び提案

昨年度の目標と研究の方法

各教科の特性や教材に応じた適切な言語活動のあり方とその条件について授業での児童の発話や表現物をととして明らかにしていく。

4月14日、5月12日、6月30日： 主題研究①～③
 10月26日： 国語科授業公開・主題研究④
 11月1日： 社会科校内研究授業
 11月10日： 体育科校内研究授業
 11月17日： 造形科校内研究授業
 11月29日： 主題研究⑤
 12月1日： 国語科校内研究授業

研究成果

- ◎ ことばが「万能」ではないことを教師が自覚することの重要性
- ◎ 言語活動における学習者の課題意識と「受信（聞く、見る、読む）」の重要性
- ◎ 話し合う場面での「根拠を比較する」→「分析・解釈する」→「判断する」活動における各教科の特性や教科独自の思考
- ◎ 自己の考えや技能の修正を図るための「共有されたことば」の必要性

研究成果とその具体

- ◎ ことばが「万能」ではないことを教師が自覚することの重要性



研究成果とその具体

- ◎ 言語活動における学習者の課題意識と「受信（聞く、見る、読む）」の重要性



13

研究成果とその具体

- ◎ 言語活動における学習者の課題意識と「受信（聞く、見る、読む）」の重要性



14

研究成果とその具体

- ◎ 話し合う場面での「根拠を比較する」→「分析・解釈する」→「判断する」活動における各教科の特性や教科独自の思考



15

研究成果とその具体

- ◎ 自己の考えや技能の修正を図るための「共有されたことば」の必要性

—5年生体育科「遠くへ投げよう！」—
45度の角度で投げよう。



45度

16

研究成果とその具体

- ◎ 自己の考えや技能の修正を図るための「共有されたことば」の必要性



17

研究成果とその具体

- ◎ 自己の考えや技能の修正を図るための「共有されたことば」の必要性



18

本年度は…

各教科の特性に応じた言語活動をより具体的な学習者の姿として発信していくために、今回確認された成果をもとに、各教科の授業づくりにおける手立てについて児童の発言記録や表現物等を分析し、その有効性について究明していく。

19

本校の研究会と月刊誌「学校教育」のご案内

○ 第95回 研究発表協議会

日時： 2013年 2月8日（金）・9日（土）

会場： 広島大学附属小学校

○ 月刊誌「学校教育」



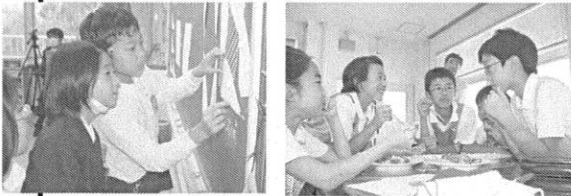
- 本校では、大正3年から教育月刊誌「学校教育」を発刊しています。
- 本誌では、本校の研究をはじめ、全国の優れた研究・実践を紹介すると共に、新しい教育に向けての提案・情報発信を行っています。

最新刊 2012年9月号 NO.1142

20

第4回広島大学附属学校園合同研究フォーラム資料《C:言語活動領域》

教科・教材の特性に応じた
「言語活動の充実」を図る
指導方法の改善
—学びの場を組織する授業づくりをとおして—




広島大学附属小学校 研究部 立石 泰之
平成24年8月20日²¹

第4回広島大学附属学校園合同全国フォーラム 2012年8月20日(月)

「新学習指導要領・教育要領実施
に伴う授業の在り方」
分科会C
言語活動領域文法事項の習得と
コミュニケーション能力の活用について

発表者 広島大学附属三原中学校
教諭 松尾 砂織



1

1 中学校学習指導要領等の
改訂のポイント
＜文部科学省HPより＞
外国語科の場合

2

(1)外国語(英語)教育の充実

3

中学校学習指導要領等の改訂のポイント
＜文部科学省HPより＞

教育内容の主な改善事項として
⇒小・中・高等学校を通じて外国語
(英語)教育の充実を図る。

4

中学校学習指導要領等の改訂のポイント
＜文部科学省HPより＞

●小学校5年生と6年生で週1コマ
(年間35時間)の「外国語活動」を
導入。

5

中学校学習指導要領等の改訂のポイント
＜文部科学省HPより＞

●小学校ではあいさつや買い物、
子どもの遊びなどの身近なコミュニ
ケーションの場面を設定するなど
して、外国語の音声や基本的な
表現に慣れ親しませながら、コミュ
ニケーション能力の素地を養う。

6

中学校学習指導要領等の改訂のポイント
＜文部科学省HPより＞

●中学校では、学ぶ語数を900語から1200語に増加するなど、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの4技能をバランスよく育成する。

7

(2) 充実すべき学習活動

8

中学校学習指導要領等の改訂のポイント
＜文部科学省HPより＞

外国語科においては、英語を理解し、英語で表現できる実践的な運用能力を育成する観点から、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4領域に渡った学習活動の展開

9

中学校学習指導要領等の改訂のポイント
＜文部科学省HPより＞

●実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの学習活動

10

中学校学習指導要領等の改訂のポイント
＜文部科学省HPより＞

●文法事項等の言語材料について理解したり練習したりする学習活動

11

(3) 4技能をバランスよく育成するための学習活動

12

中学校学習指導要領等の改訂のポイント
＜文部科学省HPより＞

- 「聞くこと」については、
⇒英語を聞いて話し手の意向などを理解する学習活動

13

中学校学習指導要領等の改訂のポイント
＜文部科学省HPより＞

- 「話すこと」については、
⇒英語を用いて自分の考えなどを話す学習活動

14

中学校学習指導要領等の改訂のポイント
＜文部科学省HPより＞

- 「読むこと」については、
⇒英語を読んで書き手の意向などを理解する学習活動

15

中学校学習指導要領等の改訂のポイント
＜文部科学省HPより＞

- 「書くこと」については、
⇒英語を用いて自分の考えなどを書く学習活動

16

(4) 指導の際の注意点

17

中学校学習指導要領等の改訂のポイント
＜文部科学省HPより＞

- 実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動においては、
⇒具体的な場面や状況に合った適切な表現を自ら考えて活動ができるようにする。

18

中学校学習指導要領等の改訂のポイント
＜文部科学省HPより＞

●活動を行うに当たり、
⇒言語の使用場面（「特有の表現がよく使われる場面」など）や言語の働き（「コミュニケーションを円滑にする」など）を取り上げるようにする。

19


2 取り組みの概要
1)「話すこと」と「書くこと」
7年生

20

【7年生】自分以外の他者を
紹介する取り組み

実施時期：7月中旬
実施学年：7年生
使用教材：Program 5 国際フードフェスティバル「SUNSHINE 1」
学習内容：①海外の食べ物について質問する。
②どこにあるか場所を質問する。
③家族について説明する。
④代名詞（主格）の使い方を身に付け運用する。
④be動詞を含む表現を身に付け運用する。
⑤場所を聞く表現を理解し運用する。

21



PowerPointで代名詞を導入する

↓

代名詞の使い方をイメージさせる

↓

教科書で口頭練習をする

22

PowerPointで代名詞を導入する

自分以外の人の紹介の仕方



LONDON 2012

23

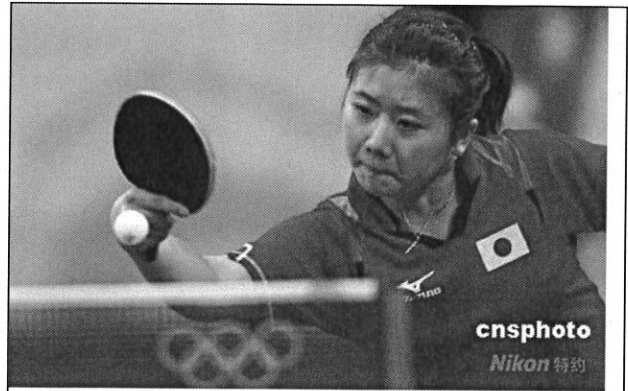


This is Shinji Kagawa.

24

He is a soccer player.
He is from Kobe.
He is in England.
He is cool. かわいい

25



This is Ai Fukuhara.

She is a table tennis player.
She is from Sendai.
She is in China.
She is cute. かわいい

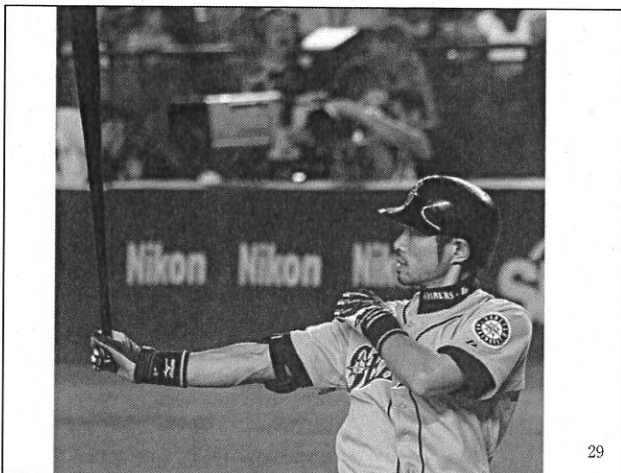
27

教科書を使って口頭練習をする

写真を見て、ペアと話そう！

赤と青の個所を変えて言ってみよう！

28



29

赤と青の個所を変えて言ってみよう！

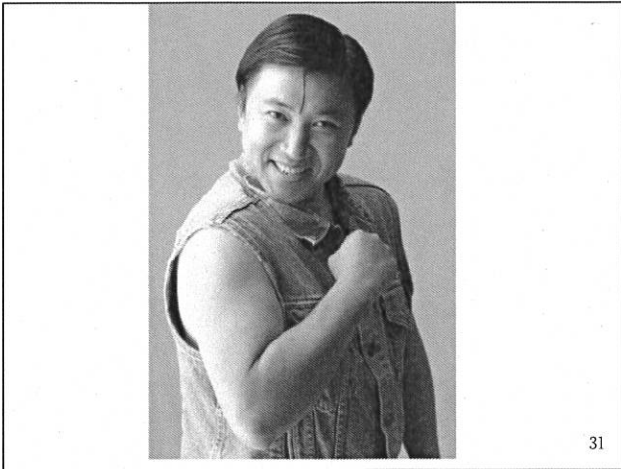
A: I like Ichiro.

He is a baseball player.

B: Is he cool?

A: Yes, he is.

30



赤と青の個所を変えて言ってみよう！

A: I like Sugi chan.

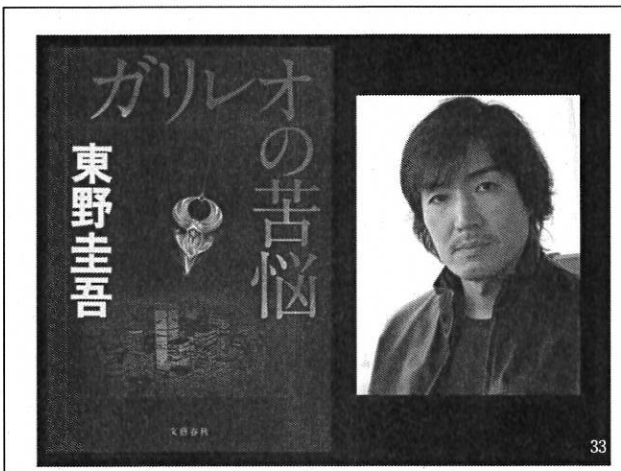
He is a comedian.

B: Is he cool?

A: No, he isn't.

He is funny.

32



赤と青の個所を変えて言ってみよう！

A: I like Keigo.

He is a writer.

B: Is he cool?

A: Yes, he is.

34



**This is Homare Sawa.
This is Kosuke Kitajima.**

He is a swimmer.

She is a soccer player.

They are athletes.

They are cool.

36



ペアで対話練習をする

↓

代名詞の用いて、ペアで発表する

37

ENJOY ENGLISH

これは **Ichiro Suzuki**.
He is a baseball player.
He is in America.
He is cool.
He is great.

これは **Shinji Kagawa**.


これは **Homare Sawa**.
This is **Kosuke Kitajima**.

代名詞を用いて文を書く

形容詞を用いて書く

↓

次回は自分の尊敬する人を紹介する(Show and Tell)活動へつなげる



38

2)「話すこと」と「書くこと」 生徒の自己評価より

39

生徒の学習自己評価表より

英語科学習自己評価表 version2 (2012年版)

項目	達成	未達成	理由	備考
1	○	○		
2	○	○		
3	○	○		
4	○	○		
5	○	○		
6	○	○		
7	○	○		
8	○	○		
9	○	○		
10	○	○		
11	○	○		
12	○	○		
13	○	○		
14	○	○		
15	○	○		
16	○	○		
17	○	○		
18	○	○		
19	○	○		
20	○	○		
21	○	○		
22	○	○		
23	○	○		
24	○	○		
25	○	○		
26	○	○		
27	○	○		
28	○	○		
29	○	○		
30	○	○		
31	○	○		
32	○	○		
33	○	○		
34	○	○		
35	○	○		
36	○	○		
37	○	○		
38	○	○		
39	○	○		
40	○	○		
41	○	○		
42	○	○		
43	○	○		
44	○	○		
45	○	○		
46	○	○		
47	○	○		
48	○	○		
49	○	○		
50	○	○		

40

生徒の学習自己評価表より

- she, heとtheyをちゃんと使えた。前にて発表もできた。
- 使い分けができるし、(代名詞を)いつ使うかも分かった。
- よく分かった。これで大丈夫だと思う。
- SheとHeとtheyは、一度紹介してから2回目に使う。
- he, she, theyなどを使って芸能人を紹介できた。

41

生徒の学習自己評価表より

- 複数のときはisじゃないことが分かった。
- 複数形は動詞がare, 他の名詞なども複数形になることが分かった。主な形容詞も分かったし, He, She, Theyも分かった。
- すべては使えなかったけど、使い方が分かってよかったです。

42

2 取り組みの概要

3) 「読むこと」と「書くこと」

7年生

43

【7年生】米国のペンパルに自己紹介を書く取り組み

実施時期：7月上旬
 実施学年：7年生
 使用教材：My Project 1 自己紹介をしよう「SUNSHINE 1」
 学習内容：①自己紹介の構成を学び、自身の自己紹介文を構成を考える。
 ②米国のペンパルに対して、文を書くので、自己紹介のほかにも、相手への質問文を考える。
 ③質問文の文法事項を復習する。
 ④既習事項を用いて、文を書く。
 ⑤新出事項を使う場合は、辞書を用いて書く。
 ⑥ペンパルが手紙を見て、嬉しいと感じられるイラストを描く。

44

自己紹介をしよう

モデルの自己紹介を提示

自己紹介の構成理解
導入⇒本文⇒結び

自己紹介文に入れる
内容を整理

45

自己紹介文の案を作成

同じ意味で異なる表現の指導

使用可能な語句や語彙のインプット

46

ENJOY ENGLISH

モデル文を用いて、自己紹介文を作成

47

ENJOY ENGLISH

モデル文を用いて、口頭練習

文法事項の定着を図る

質問文を自己紹介文に加える

48

生徒のふり返りより

○アメリカの人と文通するために、自己紹介文を作ってよかったです。

○自己紹介文を作るときに、いろいろなことを考えて作れた。

○文になるタネを作れた。

○今まで習ったことを基本に文章をつくるのができた。清書は完成したし、まあまあかわいい絵がかけた。

55

生徒のふり返りより

○早く手紙が終わって、終わっていない人を手伝えた。

○自己紹介文を作り、意味が分かった。相手を思って自己紹介文を書けた。

○絵が途中なので仕上げようと思います。写真恥ずかしかったです。

56

2 取り組みの概要

5) 「聞くこと」と「話すこと」

8年生

57

【8年生】ハンバーガー店で食べ物や飲み物を注文する買い物の場面の取り組み

実施時期：7月上旬
実施学年：8年生
使用教材：Speaking 3 買い物②（ハンバーガーを注文する）「SUNSHINE 2」

学習内容：①買い物で用いる定型表現を身に付ける。
②注文の場面に応じた読み方を身に付ける。
③注文の場面に必要な表現を覚える。
④注文した合計金額の計算をし、質問に適切に答える。

58

Speaking 3 買い物②(ハンバーガーを注文する)

① 英語はハンバーガー店で食べる物や飲み物を注文します。英語を使って、ヘアで練習しましょう。

基本表現を導入

昨年New Horizonで学習済み

新出単語、文法事項を確認

59

Unit 5 ピクニックに行こう

① 注文しよう

Two hamburgers and two colas, please.

Large or small?

Large, please.

For here or to go?

To go.

Here you are.

That's five hundred and forty yen, please.

Thank you.

昨年年度使用した教材
Unit 5 New Horizon English Course 1

60

STEP BY STEP 学習プリント No. 247 1306 No. 89
第11回 (第1) 第1 第1回

[Step] 教科書の基本表現とその意味を覚えよう。まずは、英語から日本語、日本語から英語に訳して覚えよう。単語練習をしよう！

1項目 (英→日)	2項目 (英→日)	3項目 (日→英)
1 Hello. May I help you?	こんにちは。何かお困りですか。	はい。お願いします。
2 Yes. I'll have a hamburger, a small French fries, and a coke, please.	はい。ハンバーガー1つ、小のフレンチフライ1つとコーラ1つをお願いします。	はい。お願いします。
3 Which size would you like, small, medium, or large?	どのサイズがいいですか。	小、中、大のうちどのサイズのコーラがいいですか。
4 Medium, please.	中サイズをお願いします。	中サイズをお願いします。
5 For here or to go?	こちらで食べていただけますか、お持ち帰りになりますか。	こちらで食べていただけますか、お持ち帰りになりますか。
6 For here, please.	こちらで食べていただけますか。	こちらで食べていただけますか。
7 Would you like anything else?	他に何かお困りですか。	はい。お願いします。
8 No. That's all. Thanks.	いいえ、以上です。ありがとうございます。	ありがとうございます。
9 OK. That'll be a \$8.00, please.	はい、お持ち帰りのハンバーガー1つ、小のフレンチフライ1つとコーラ1つは8.00ドルです。	はい、お願いします。
10 Here you are.	どうぞ。	ありがとうございます。
11 Thank you. Here's your change.	ありがとうございます。お釣りです。	ありがとうございます。
12 Thank you.	ありがとうございます。	ありがとうございます。
13 You're welcome.	どういたしまして。	ありがとうございます。

単語練習：英語の単語を日本語に、日本語の単語を英語に訳して覚えよう。

英語	日本語	英語	日本語
ハンバーガー	ハンバーガー	コーラ	コーラ
フレンチフライ	フレンチフライ	中サイズ	中サイズ
小のフレンチフライ	小のフレンチフライ	大サイズ	大サイズ
大のフレンチフライ	大のフレンチフライ	お持ち帰り	お持ち帰り
こちらで	こちらで	お持ち帰り	お持ち帰り
お持ち帰り	お持ち帰り	お持ち帰り	お持ち帰り

61

STEP BY STEP 学習プリント No. 247 1306 No. 91
第11回 (第1) 第1 第1回

[Step] あなたは、アメリカの1人 (ロサンゼルス) でホームステイをしています。お勤めするたのでファーストフード店に入ることにしました。レベルの高い対話文を声に出して読んでみましょう！

他の表現を導入

3. 練習しましょう。10 Expression Bookを参考にしましょう。

Expression Book

1. Hello. May I help you? (Hello. What would you like?)
2. Yes. I'll have a hamburger, a small French fries, and a coke, please. (I'll have this one and this one. (Pointing the pictures of menu.)
3. Which size would you like, small, medium, or large? (One hamburger and a medium coffee, please.)
4. Medium, please. (One hamburger and a coffee, please.)
5. For here or to go? (I have 3 orders of coffee, small, medium and large. Which size would you like?)
6. For here, please. (Small, please.)
7. Would you like anything else? (Yes coffee, please. One Medium and one large.)
8. No. That's all. Thanks. (One hamburger and one small French fries, anything else?)
9. OK. That'll be a \$8.00, please. (That's all.)
10. Here you are. (Do you have any combos on your menu?)
11. Thank you. Here's your change. (Yes, we have these combos. (Pointing the pictures of menu.)
12. Thank you. (Yes, you can choose a salad of French fries with this combo. Which would you like?)
13. You're welcome. (We have juice, coke, coffee or tea. What drink would you like?)
14. (I'll have Combo A with a large coke.)
15. (I'm sorry. A large drink doesn't come with this combo. You can choose a medium-sized drink for this combo.)

応用表現も導入

62

STEP BY STEP 学習プリント No. 247 1306 No. 89 No. 92
第11回 (第1) 第1 第1回

[Step] 次のような状況の場面、3-5回 (1) 向いて英語で発話を入れてください。状況に応じて日本語も書かれます。最初は、教科書の対話文を見てください。

ハンバーガーを注文してきましょう！

(A) (英語) (B) (日本語)

Hello. May I help you? Yes, I'll have () please.

Which size () would you like, () () or ()? () or () please.

For here or to go? () please.

Would you like anything else? () please.

No. That's all. Thanks.

OK. That'll be () please. Here you are.

Thank you. Here's your change.

(1) 発話の空には日本語か英語か、お勤めされている、のどちらかを入れて、状況で書かれます。

(2) 発話の空には日本語か英語か、3人の友達の分も入れて読んで、お勤めされている、のどちらかを入れて、状況で書かれます。

63

注文の表現を暗唱

Warren's Hamburger Shop MENU

FOOD	DRINKS
hamburger \$1.00	apple juice \$1.50
cheeseburger \$1.20	orange juice \$1.50
green salad \$1.10	pop \$1.50
apple pie \$1.00	cola \$1.50
French fries \$1.00	coffee \$1.00
chicken 1 piece \$2.00	tea \$1.00

COMBO * NEW MENU *

COMBO A \$2.50
1 hamburger, a small drink and a salad of french fries

COMBO B \$3.00
2 hamburgers, a chicken, a small drink and a small french fries

64

紙幣の受け渡し

おつりの受け取りと確認

ALTには、たまにおつりを間違えてもらう

より実践的な場面の設定で、自ら考える場を与える

65

より実践的な活動をめざすため

アイコンタクトやその場に応じた対応を考え実践させる

66

生徒の記述より

<表現の問題について>

●単語のミスが多かったと思う。単語を覚えていなかったり、全く違い意味の単語を書いたりしてしまった。期末テストまでに、教科書にのっている単語を全て暗記できるよう頑張りたい。

73

生徒の記述より

<知識理解の問題について>

○全くミスがなかったので良かった。並べかえの問題を完ペきにできたので良かった。期末テストでは、知識理解の問題にかける時間を短くして、他の問題に時間が費やせるよう頑張りたい。

74

生徒の記述より

<理解の問題について>

○理解の問題で一番多く失点してしまった。文法がよく分かっていなかったり、日本語訳がきちんとできていなかったりしていた。期末テストまでに、文法がしっかり理解できるよう、頑張りたい。

75

第4回広島大学附属学校園合同全国フォーラム 2012年8月20日(月)

ご清聴
ありがとうございました



広島大学附属三原学校園 76